



【えぞ財団】出版社“EZOBOKS”立ち上げ「こんなもんじゃない、北海道」伝える

第一弾（9月予定）は「札幌解体新書」トークイベントをベースにデータ交え書籍化

北海道経済コミュニティーのえぞ財団（代表発起人：富山浩樹）は、メディア事業・教育事業・投資事業を軸に、北海道がもっと元気になるための活動を2020年から続けてきました。この度、メディア事業における新規事業といたしまして出版社“EZOBOKS”を6月13日立ち上げたことをお知らせいたします。

第一弾「札幌解体新書」は2024年9月出版予定。えぞ財団が「北海道の歴史を多角的に見つめなおし、札幌・北海道の再興戦略に繋げる」をテーマにこれまでトークイベントとして開催してきた内容を中心に、データなども交えて書籍化する予定です。

■EZOBOKSについて

えぞ財団と共通の合言葉「こんなもんじゃない、北海道を創る」を胸に、北海道の今を作る私達だからこそ残せる北海道の魅力、歴史、知識を書籍化していきく書籍レーベルです。「執筆者と読者、どちらからもやりとりできる双方向メディア」を目指します。刊行元法人は一般財団法人えぞ財団、発売元は合同会社 逆旅出版です。

■えぞ財団について

「北海道を本気で盛り上げる北海道経済コミュニティー」として、地域密着型のアプローチを通じて北海道内外の人々が連携し北海道の経済を活性化させることを目的に、2020年夏から活動を開始しました。メディア事業、教育事業、投資事業の3事業を核に、地域単位での経済成長とコミュニティ形成に注力しています。

●メディア事業

公式 note における「この人、エーズ」や、団員限定のトーク LIVE「えぞトーク」を通じて地域ビジネスやイノベーションに関する情報を発信し、知識の共有を行うこと。

●教育事業

「EZO OPEN SCHOOL」をはじめとして、地域の若者や起業家に向けた教育プログラムを提供し、ビジネススキルやリーダーシップの育成を支援する。

●投資事業

地域内の有望なスタートアップやプロジェクトを支援し、成長をサポートする。

■合同会社 逆旅出版について（仮・あてこみ）

2022年、Webメディアの運営やコンテンツ制作事業に出版業を加える形で「逆旅出版」を創業。旅人にとっての宿（逆旅）のような、人生の休憩場所や分岐点となる書籍を作るべく、書籍の刊行や他団体の出版事業プロデュース、地方自治体の観光事業サポートを行う。

■えぞ財団についてはコチラ→<https://ezozaidan.com/>

■EZOBOOKS についてはコチラ→<https://ezobooks.net/>

一般財団法人えぞ財団

担当：松田鋼季

MAIL:koukiiii-alala0222@hotmail.co.jp